

平成29年度県北教育事務所管内教育振興運動推進研修会

実践発表資料

【全県共通課題】

情報メディアとの上手な付き合い方

「メディアコントロールの取り組み」

【地域の教育課題】

「心のふるさとづくりの取り組み」

【資料の内容】

P 1～p 5	発表スライド
P 6	別紙資料 1 通知文書（写）
P 7	別紙資料 2 一戸中学校区学校保健委員会作成資料
P 8	別紙資料 3 保健室だより「すこやかN o 15」
P 9	別紙資料 4 説明資料「メディアコントロールの目的」
P 10	別紙資料 5 保健室だより「すこやかN o 25」
P 11	別紙資料 6 児童・保護者の感想
P 12	別紙資料 7 学校支援地域本部事業リーフレット

平成29年6月7日（水）

二戸地区合同庁舎

鳥海小学校実践区

地域の教育課題の解決に向けた 教育振興運動の取組

鳥海小学校実践区(一戸町)
鳥海地区振興会常任委員
一戸町立鳥海小学校
校長 南 隆人

鳥海地区振興会 とは ①

第1条(名称)

本会は、鳥海地区振興会と称し、事務局を鳥海地区公民館に置く。

第2条(構成)

本会は、鳥海地区に居住する全世帯及び鳥海地区で活動するすべての団体員をもって構成する。

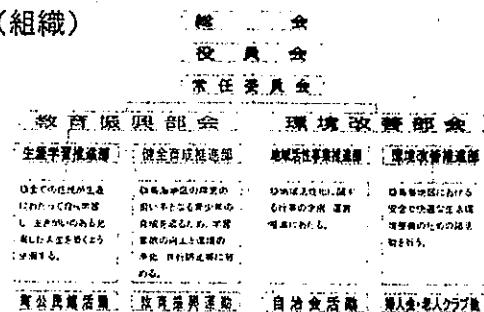
鳥海地区振興会 とは ②

第3条(目的)

本会は、青少年の育成と鳥海地区住民の生きがいづくりのための生涯学習社会の形成を目指すため、各種団体活動の活発化と連絡・連携・調整にあたると共に、鳥海地区の活性化と発展を目指し、課題把握と解決のための活動を行う。

鳥海地区振興会 とは ③

(組織)



鳥海地区振興会 とは ④

【組織統合のメリット】

- 1 地域コミュニティーの組織強化
(H4小学校統合→H6振興会設立)
- 2 学校と地域の連携・協働の推進
- 3 学校教育活動の質の確保
- 4 子どもをみんなで育てる意識の醸成
- 5 学校が負担する業務の軽減

鳥海小実践区の重点実践項目 (鳥海地区振興会 健全育成推進部)

- 1 親子のふれあいに関する活動の推進
- 2 家庭の教育力を高める活動の推進
→メディアコントロールの取り組み
- 3 学校・PTAと地域の連携を育む活動の推進
→地域課題「心のふるさとづくり」の取り組み
- 4 読書活動の推進
- 5 環境整備活動の推進

実践報告1

メディアコントロールの取り組み①

一戸小学校区 一戸南小学校区 烏海小学校区 小島谷小学校区

- 1 一戸町では教育委員会、生徒指導連絡協議会、PTA連合会の3者が協力して取り組みを推進している。(別紙資料1)
- 2 一戸地区推進協議会を活動母体として、一戸中学校区学校保健委員会が中心となり、学区内の小中5校による共通指導事項として取り組んでいる。(別紙資料2)

実践報告1

メディアコントロールの取り組み②

【取り組みの具体】(別紙資料2)

- | |
|--|
| 1 テレビを見る時間(じかん)を()分(120分をこえないこと) |
| 2 ゲームをする時間(じかん)を()分(60分をこえないこと) |
| 3 夜(よる)()時(じ)以降(いこう)はおそくても9時利用(りよう)しない。 |

実践報告1

メディアコントロールの取り組み③

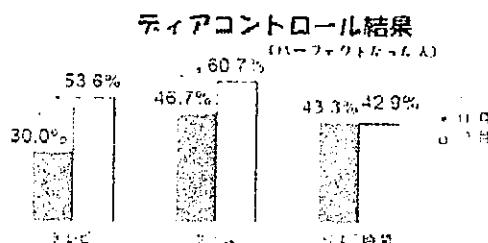
【取り組みの具体】(別紙資料2)

	2月 木(木)	2月 金(金)	2月 月(月)	2月 火(火)	2月 水(水)	2月 木(木)
1.テレビ のじかん						
2.ゲーム のじかん						
3.よるの りよう						

実践報告1

メディアコントロールの取り組み④

【取り組みの具体】(別紙資料4)



実践報告1

メディアコントロールの取り組み⑤

【取り組みの具体】(別紙資料5)

おうちの人の感想

- 今日は声かけをしないで取り組んでみました。自分でコントロール出来るようになってきたので良かったです。
- 宿題をしているときはテレビを消していました。目標があると、とりくみやすいようでした。
- ゲームはタイマーをセットしてやっています。
- 声かけをすると、守ることができました。今度は自分で時間を見ながらできるといいなと思います。

実践報告1

メディアコントロールの取り組み⑥

【成果】

- 1 町として小・中・高による統一見解が示されたことにより、取り組みの基盤が整えられた。
- 2 中学校区として共通行動日を設けたことで、指導の実効性が高められた。
- 3 生活習慣の確立に向けた他の指導事項と連動させることで、漸進的に状況が改善されてきている。
- 4 「まなびフェスティ」の取り組み項目に関連事項を位置づけたことで、意識啓発が図られている。

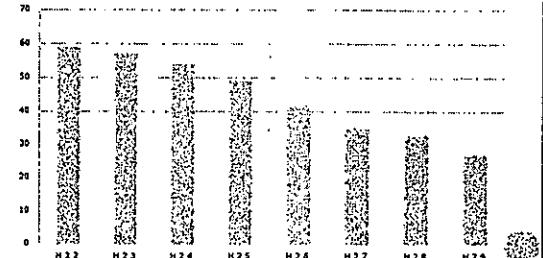
実践報告1 メディアコントロールの取り組み⑦

【課題】

- 1 家庭環境等により、メディアコントロールの取り組み状況には個人差が見られる。
- 2 子ども同士の家が離れていることから、一緒に遊ぶ機会が少なく、それがゲーム依存の状況を生み出している事実は否めない。
- 3 第2子以降の児童は、ゲームの開始年齢が低く、ゲームへの依存度が高い傾向にある。
- 4 「早寝」の習慣が身に付いていない児童が多い。

実践報告2 「心のふるさとづくり」の取り組み①

平成22年度以降の児童数の変化



実践報告2 「心のふるさとづくり」の取り組み②

【地域課題1】 地域コミュニティーの地盤沈下

- ①地方を直撃した少子・高齢化の波
- ②担い手の無い農業→耕作放棄地の増加
- ③人口流出と就労人口の減少
- ④自治会・子ども育成会等の活動休止
- ⑤地域住民の意識の分断
- ⑥経済活動の縮小・生活環境の劣化

実践報告2 「心のふるさとづくり」の取り組み③

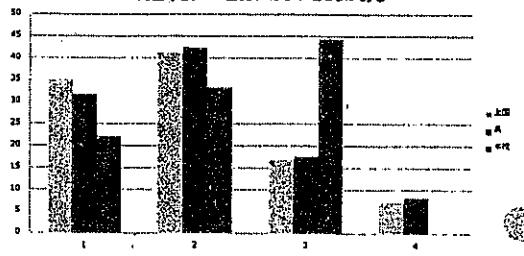
【地域課題2】 子どもとりまく教育環境の変化

- ①鳥海中学校の統合(H23)
- ②就学前教育施設の休館(H25)
- ③小学校の複式指導への移行(H25)
- ④小学校入学をめぐる保護者の意識の隔絶
- ⑤PTA活動の停滞・参加意識の低下
- ⑥児童が負う家庭的リスクの増大

実践報告2 「心のふるさとづくり」の取り組み④

【地域課題3】 自己肯定感を持てない子どもたち

全国学調26 自分にはよいところがある



実践報告2 「心のふるさとづくり」の取り組み⑤

【三つの地域課題の解決に向けた基本方針】

学校・家庭・地域が連携・協働することで、教育活動の質の向上や教育環境の整備に努め、みんなの手で子どもたちを育てる「地域の学校」としての機能を高める。

学校支援地域本部事業の導入
学校・PTA・地区振興会の3者による学校づくり

実践報告2
「心のふるさとづくり」の取り組み⑥

地域
少年消防
クラブの活動



実践報告2
「心のふるさとづくり」の取り組み⑦

地域
人たちの心が
一つに結ばれて
島海小学校大運動会さ



実践報告2
「心のふるさとづくり」の取り組み⑧

ふるさと学習として
全校で取り組んでいる
稲作体験活動



実践報告2
「心のふるさとづくり」の取り組み⑨

PTAと振興会が
地域を巻き込んで
開催した島海夏祭り



実践報告2
「心のふるさとづくり」の取り組み⑩

ボランティア団体や
老人クラブの方々との
環境整備作業



実践報告2
「心のふるさとづくり」の取り組み⑪

児童が調べた地域の偉人
「柴田勝治の生涯」
を上演した学習発表会



実践報告2
「心のふるさとづくり」の取り組み⑫

地域の読書ボランティアの方々をお迎えティアの図書まつりの

実践報告2
「心のふるさとづくり」の取り組み⑬

地域の方々をお招きしての三世代交流会

実践報告2
「心のふるさとづくり」の取り組み⑭

老人介護施設訪問でのお年寄りの方々との交流

実践報告2
「心のふるさとづくり」の取り組み⑮

地区公民館主催のクロスカントリー・スキー講習会

実践報告2
「心のふるさとづくり」の取り組み⑯

【成果】

- 1 学校が地域から恩恵を受けるだけでなく、学校が「地域の学校」として役割を担い、児童を通じて地域に元気を届ける発信基地になりつつある。
- 2 これまで行われてきた教育活動について、改めて価値のとらえ直しや取り組みの改善が図られたことにより、一つ一つの教育活動の質が高まっている。
- 3 地域に学び、地域で育ち、地域に生きる活動を通して、児童の心に自己肯定感がふくらんでいる。

実践報告2
「心のふるさとづくり」の取り組み⑰

【課題】

- 1 事業初年度であったことから、手探り状態であったとの見方も一方にはあることから、年間の見通しに立った計画立案が求められる。
- 2 ご協力いただいた地域人材や外部団体のリストを作成し、顔が見える関係を構築する必要がある。
- 3 いたずらに事業の拡大を急ぐことなく、今ある活動を大切にしながら少しずつ根っこを育していくという発想に立ち、事業を継続することが必要である。

別紙資料1



平成28年7月12日

保護者各位

一戸町教育委員会

教育長 古館英彦

一戸町生徒指導連絡協議会

会長猿川泰司

一戸町PTA連合会

会長田村正則

スマートフォン等の通信端末やゲームによるSNS等の適切な利用について

盛夏の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より、町内の教育活動に多大なるご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、昨今のスマートフォンや携帯電話等の携帯通信端末や、パソコンやゲーム等によるSNSやメールの利用が広まるにつれ、児童生徒を取り巻く環境が大きく変化してきています。また、他の地域では、それに伴い、様々な事件に巻き込まれたりする案件も発生しており、この地域でも同様のことが懸念されます。これまで、町生徒指導連絡協議会を中心に、この問題についてどう対処するべきか検討を進めて参りました。

つきましては、本日より、一戸町内のすべての学校において、下記の通り、取り組むことをいたしますので、趣旨をご理解の上、ご家庭でのご指導とご協力をお願い申し上げます。

記

1 利用を控える時間帯 年間を通して 21:00～翌日 6:00

2 対象児童生徒 一戸地域のすべての児童・生徒（一戸高校の生徒も含む）

3 取り組み内容

- (1) この時間帯は、スマートフォンや等の携帯通信端末やパソコン、ゲームなどでの通信やLINE、メールなどのやりとりをしない。
- (2) 開始時間の5分前(20:55頃)から、「あと5分だよ」などの声掛けを保護者からする。
- (3) 対象機器の利用の仕方について、これまで同様、各家庭でルールを決めて使用させる。

「メディアコントロール」チャレンジourke



年番なまえ

☆食事のとき、勉強のときはテレビを消しましょう！

【とりくみ方】
家族で話し合い、右の①～③の時間を決め、()に書きます。

*いつもより少し ngắnばつて、とりくみに挑戦してみましょう。

【きにゅうのしかた】
まもれたら：○ まもれなかつたら：△ をかきましょう。

①	テレビを見る時間を（ ）分以下にする。	120分をこえないこと
②	ゲームをする時間を（ ）分以下にする。	60分をこえないこと
③	夜（ ）時以降は利用しない。	おそらく9時

	2/9 (木)	2/10 (金)	2/13 (月)	2/14 (火)	2/15 (水)	2/16 (木)
①テレビのじかん						
②ゲームのじかん						
③よるのりよう						

このメディアとは・・・
TV、ゲーム機、パソコン、ケータイ、
スマホ、タブレット端末など主に画面の
あるメディア機器のことです。
長時間使い続けることで、健康や生活
に悪い影響が心配されます。

【子どもの感想】

【お家の方の感想】

「We むさこやか」

No.15

H28.11.16

鳥海小学校保健室

平成28年度第1回

わが家の「メディアコントロール」 チャレンジウィーク

小中連携の「メディアコントロール」の取り組みも、3年目となりました。中学校では、テスト前・テスト期間中に取り組みを実施しているそうです。本校でも実態を考慮しながら、学校保健委員会で検討し、今年度は内容を少し変えて取り組むことになりました。これは中学校だけの取り組みでなく、家庭での取り組みとして行い、生涯にわたり健康な生活を築いていきたいという願いからです。

今回は中学校の取り組み期間に合わせて、11月21日（月）からの実施です。皆さんにご理解いただき、下記のようにすすめたいと思います。ご協力の程よろしくお願ひいたします。

【方法】

1 11月18日（金）取り組みカード配布

①	テレビを見る時間を（ じかん ）分以下にする。 （　　）	120分をこえないこと。
②	ゲームをする時間を（ じかん ）分以下にする。 （　　）	60分をこえないこと。
③	夜（ よる ）時以降は利用しない。 （　　） じいこう りょう	おそらく9時。

- (1) 家族で話し合い、上の①～③の時間を決めて、（　　）内に書きます。
- (2) ③は、夜9時以降のメディア利用を控えるようにしていただきたいという願いからです。

2 「1」で決めたことを、取り組みカードに記入します。

- 3 11月21日（月）からスタートです。※取り組めたら色をぬります！
- 4 11月25日（金）で終わりです。取り組めた日数、子どもの感想、お家の方の感想を記入します。
- 5 11月28日（月）にカードを担任の先生に出します。



କାନ୍ଦିଲାରେ ପାଇଁ ଏହାରେ କାନ୍ଦିଲାରେ

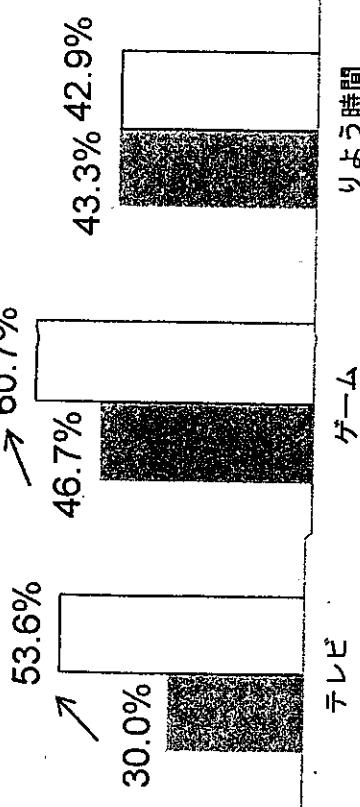


2月 サニカガ

No.25
H29.2.28
鳥海小保健室

メディアコントロール結果

(パーフェクトだった人)



2月の発育測定がおわりました。4月から2月

にかけて身長がたくさん伸びたお友だちを紹介します。※成長には個人差があります。

ほかの人と比べるのではなく、過去の自分と比べてみてくださいね。

1位	6年	さん (10.1cm)
2位	6年	さん (9.0cm)
3位	6年	さん (7.5cm)

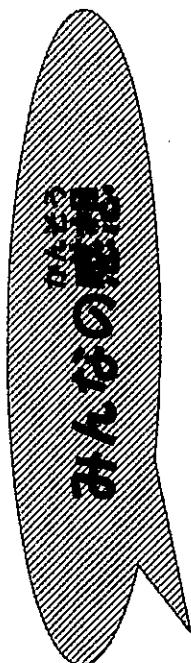
みんなはどうだけ伸びたかな～？ 3月6日にけんこう手帳を配付します。おうちの人と一緒に確認してみてね。

2月9日～16日の6日間で実施した、メディアコントロールの結果をお知らせします。みんないかがでしたか？ 11月に比べて、テレビの利用時間もゲームの利用時間も、毎日めあてをまもれた人がふえました。意識して取り組めたようですね。これからも上手にメディアとつき合ってほしいです。何度も言うようですが、きちんと睡眠をとることは成長発達のみなさんにとって大切なことです。身長をのばしたい人、運動や勉強をがんばりたい人など、明日の自分のため、将来の自分のためにも、「今」自分の心や体を大切にしてくださいね。取り組みの感想をうらにものせています。今年の反省を来年に生かしましょう。

私たちの人の體

■トランプやオセロをしてみると、テレビも見ないしゲームもないらしいと思いました。これからも続けます。

■今回は声かけをしないで取り組んでみました。自分でコントロール出来るようになってきたので良かったです。



■ゲームはやらないようにしているので守っていましたが、9時以降もテレビを見ることがあります。家族も見ないように工夫したいと願っています。

■食事のとき、テレビは消しませんが、家族で学習のことなど、よく話をしています。ゲームの時間はきちんと守ることができました。

■時間を決めて見るようになると、きちんと守ることができます。家族が多いのでテレビを消すのは難しかったです。

■宿題をしているときはテレビを消していました。目標があるととりくみやすいようでした。

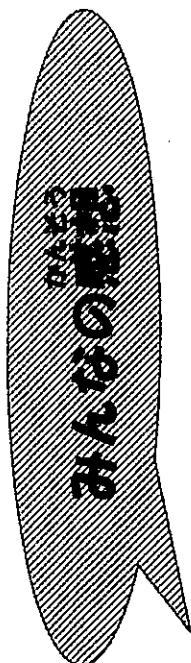
■ゲームはタイマーをセットしてやっています。

■声かけをすると、守ることができます。今度は自分で時間を見ながらできるといなと思います。



■トランプやオセロをしてみると、テレビも見ないしゲームもないらしいと思いました。これからも続けます。

■今回は声かけをしないで取り組んでみました。自分でコントロール出来るようになってきたので良かったです。



■今日はさんかくがあつたので、次のメディアコントロールでは全部守れるようにしたいです。

■今日はすべて守ることができよかったです。これからも続けたいと思います。

■未曜日にゲームをしそすぎたり、肩曜日によるおそらくテレビを見たりしたので、メディアコントロールの期間がなかなかでも気をつけたい。

■この取り組みにちょうどせんして、みんな〇で守れたのでよかったです。これからも続けて守りたいです。

一戸町立鳥海小学校



【事業推進の目的】

学校・家庭・地域が連携・協働することで、教育活動の質の向上や教育環境の整備に努め、みんなの手で子どもたちを育てる「地域の学校」としての機能を高める。



【PTAが地域の協力を得て開催した鳥海夏祭り】

はじめに

本校は、近年児童数の減少が続き、それにともなって学校の教育活動やPTA活動についても、様々な見直しを迫られています。もはや、教職員やPTA会員の努力だけでは、学校行事の運営や環境整備作業等に対応できない状況が生じております。

本校には、PTAや地区振興会と一体となって教育振興・地域振興に努めてきた長い歴史があります。地区公民館が推進する社会教育活動はもとより、地区老人クラブや地域ボランティア高森会等と連携して、地域の特色を活かした教育の推進を取り組んでまいりました。

本事業を導入することで、こうした教育資源の再構築を図り、学校・家庭・地域が連携・協働して教育活動の質の向上や教育環境の整備に努め、みんなの手で子どもたちを育てる「地域の学校」としての機能を高めたいと考えました。事業初年度となる今年は、これまで諸団体の協力を得て実施してきた教育活動の一つ一つについて、学校支援地域本部がパイプ役となって活動の基盤を整備するところからのスタートとなりました。

会員組織

会長	柏葉 輝男（鳥海地区振興会会長）
副会長	永田 忠志（一戸町交通安全指導隊長）
本部長	南 隆人（校長）
委員	久保 克則（鳥海地区公民館長）　堺田 悅章（PTA会長）　土屋 美（PTA副会長）
事務局	南館 忠信（PTA副会長）　上里 透（教育委員会事業担当） 城生野 成 則（副校長）　東山 智（地域支援コーディネーター）

活動報告

1 学習補助活動

(1) ふるさと学習の一環として取り組んでいる稻作体験学習における実習指導

本校のふるさと学習の基軸となっているのは、開校以来続いている稻作体験学習です。6月の田植えに始まり、稲刈り、そして脱穀まで、地域の方々に実習の講師として参加していただいております。



10月4日(火)、前日の雨も上がった青空の下、全校児童で学校田の稲刈りをしました。黄金色に輝く稻穂の中に立って、人々と作業する子どもたちの姿を眺めながら、この体験学習が本校のふるさと学習の基軸であることを再認識しました。

閉会式で、講師の立崎タキさんがおっしゃられた言葉が心にしました。「今日の思い出を心の箱の中に大切に閉まっておいて、いつか必要な時に開けてみてください。」この日お力添えいただいた立崎タキさん、堺田良子さん、上村ハリエさん、苗代幅美津子さん、東山和子さん、崎茂さんに改めて感謝申し上げます。

(校報鳥海 No.14より)

(2) 地域の食について理解を深める郷土料理づくりにおける地域人材の活用

本校では、毎年11月に地域の方々を学校にお招きして三世代交流会を開催しています。学校田で収穫したお米で餅つきをしたり、地域の方をゲストティーチャーにお迎えして親子で地域に伝わる郷土料理づくりを体验したりします。

今年は、地域の昔ながらのお菓子「きやば餅」をはじめ、秋の収穫の喜びを家族で分かち合うための料理である「へっちょこ団子」、そして手作りの粒あんがたっぷり入った「大福」をみんなで作りました。



【地域の方に教えられながらきやば餅を作っている子どもたち】

会食を通して、地域の食文化にふれながら、秋の実りの喜びをみんなで分かち合うことができました。

(3) 地域連携に基づく郷土芸能の伝承活動

人口減少等の理由により、最近では盆踊り大会も行われなくなってしまったという声に応えて、郷土に伝わる盆踊りである「ナニヤドヤラ」の伝承活動に取り組むこととしました。

運動会の種目に「ナニヤドヤラ」を加えて、地域の方に講師をお願いして手踊りを指導していただきました。

当時は太鼓の叩き手を地域の方々6名にお願いした他、地域に伝わる踊り歌を伝承されているお二方をお迎えし、太鼓のリズムと独特の節回しの中で、大きな踊りの輪が校庭に広がりました。ご招待したお年寄りの方々も、楽しそうに敬老席から拍手と声援を送っていました。

運動会での盛り上がりを受けて、7月にはPTAが地域を巻きこんで開催した「鳥海夏祭り」のイベントとして、校庭に櫓を組んで懸賞盆踊り大会を開催しました。



【運動会でのナニヤドヤラ流し踊り】

(4) 地域人材の活用や地域連携に基づくその他の学習補助活動

この他にも、地域をよく知る方をお迎えしての学習会の実施、小中音楽会へむけての合唱活動におけるピアノ伴奏者の確保、地区公民館の協力によるクロスカントリスキー教室の開催、アルペンスキー教室の指導員の確保等、教職員だけでは対応が難しくなった内容について、学校支援地域本部がパイプ役となって地域人材の確保や関係団体との連携に努めながら、教育活動の質の確保そして向上に取り組んでいます。

2 地域ボランティア高森会や地区老人クラブとの連携による環境整備作業



【地域ボランティア高森会のみなさんによる花の苗植え】

平成27年度の学校公開に合わせて、草地だった中庭を花壇に作り変えました。

活動の中心となってくれているのが、地域ボランティア高森会のみなさんです。毎年7月の始めに花の苗を植えています。今年は苗代に、本事業費を充てることができました。

9月には、地区の老人クラブのみなさんが児童と一緒に草取り作業を行ってくれています。一緒に汗を流して作業するなかで、自然とそこに会話が生まれていきました。

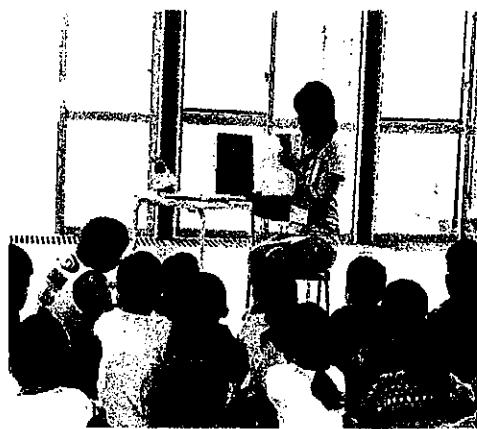
多くの地域の方々の手で、豊かな教育環境が生まれ出されています。

3 読書活動の推進にむけた外部団体との連携、および読書環境の整備のための読書ボランティアの確保

読書活動の充実は、本校の教育課題の一つでもあります。今年度も読書目標冊数の達成や親子ふれあい読書の取り組み、図書委員会による読書祭りの開催、1階フロアへの読書コーナーの新設等、様々な活動を展開してきました。

読み聞かせボランティアの活用もその一つです。年6回、延べにして13人の方に来校していただき読み聞かせの会を開いてもらいました。児童も、本の世界に思いをふくらませていました。

一戸町図書館司書の姉帶さんに毎月1回の学校訪問を依頼し、①児童を対象としたブックトーク、②書架の整理、③蔵書点検、④環境整備等を行っていただいております。その日に合わせて、読書ボランティアをお願いしている南館睦子さん、南館恵子さんにもご対応いただいております。



【ボランティアによる読み聞かせ】

4 子どもたちの地域貢献活動への指導と支援

(1) 少年消防クラブの活動への消防団の協力

地域貢献活動の核となっているのは、本校の伝統の一つである少年消防クラブの活動です。消防演習、火災予防運動、防災広報等の活動に参加し、地域防災組織の一翼を担っています。

少年消防クラブの活動には、消防団の協力が欠かせません。ポンプ操作の実習、分列行進の仕方、消防団員として言葉遣いや所作まで、消防団員の方々に指導していただいております。

地域や人命を守ってきた消防団の活動に参加することで、児童も地域防災への意識を新たにするとともに、人と人との支え合って生きる鳥海の暮らしの豊かさをしっかりと受け止めています。

(2) 子どもを通して地域に元気を発信する活動のサポート

その他にも、老人介護施設「鳥海の森」を訪問して、地域のお年寄りの方々との交流活動を毎年行っています。また、PTAが地域を巻き込んで今年度開催した鳥海夏祭りでは、屋台を並べての夕涼み会や懸賞盆踊り大会に地域の方々が集まり、楽しい時間を分かち合うことができました。

こうした活動を通して、「地域の学校」としての役割を果たすとともに、子どもを通して地域に元気を発信しています。学校と地域の間に立って人と人とをつなぐ役割を、学校支援地域本部が果たしています。

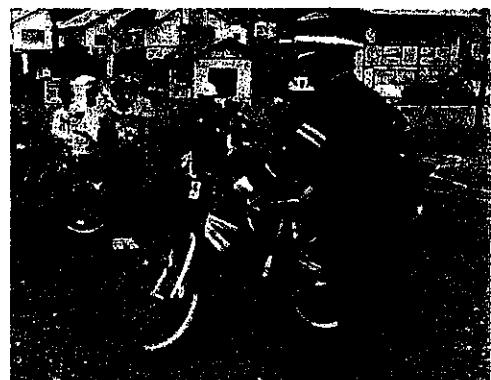
5 スクールガードによる児童の見守り活動の充実

交通指導隊の方々やPTA役員のみなさんにスクールガードとして、児童の登下校時の見守り活動をお願いしています。現在18人の方々に、春と秋の交通安全週間はもとより学期初めや月初め等、歩道に立って児童の安全確保のためにご指導いただいております。年度初めに実施する交通安全教室にも参加していただき、自転車走行指導や歩行訓練をお願いしています。

また、10月には、二戸警察署の生活安全課長さんを講師にお迎えして、保護者を対象にスクールガード講習会を開催する等して、地域ぐるみで交通事故防止や防犯に取り組んでいます。



【秋の火災予防運動に参加する児童】



【交通安全教室での自転車走行指導】

成果と課題

1 成果

- (1) 事業の目的に基づいて、これまで行われてきた教育活動について、改めて価値のとらえ直しや取り組みの改善が図られたことにより、一つ一つの教育活動の質が高まった。
- (2) 地域人材の活用や外部団体との連携により、多様な教育活動を展開することを可能となり、児童の教育にも広がりがもたらされている。
- (3) 学校が地域から恩恵を受けるだけでなく、学校が「地域の学校」として役割を担い、児童を通じて地域に元気を届ける発信基地となりつつある。

2 課題

- (1) 事業の初年度であることから、「できることから始める」ことを大事にして事業推進に当たってきたが、手探り状態であったとの見方も一方にはあることから、年間の見通しに立った計画立案が求められる。
- (2) ご協力いただいた地域人材や外部団体のリストを作成し、顔が見える関係を構築する必要がある。

おわりに

学校支援地域本部事業を推進することにより、地域がもつ豊かな教育資源、そして小規模校のメリットを最大限に活かしながら、ふるさと鳥海の自然の美しさや暮らしの豊かさ、そして人と人とのつながりの温かさを、小学校生活6年間の中で、子どもたち一人一人の胸にしっかりと刻んでおきたいと考えています。